

社会： 安全品質活動



危険物を取り扱うNRSグループにとって、「安全」は事業の根幹であり社会への責務です。社員1人ひとりが危険を予知して事故を防げるよう、計画的かつ徹底した安全品質管理を行っています。

安全で高品質な物流を提供するために

安全推進委員会

社長を委員長とし、年度ごとの環境安全品質目標および目標を達成するための計画：NRSグループマネジメントプログラムを策定します。これをベースに事業所は安全品質活動計画を策定し計画的に安全活動に取り組み、実施状況を定期的に報告します。安全品質年間活動計画の作成は、1年間の安全活動を司る計画ですので重要な作業となります。

2022年度環境安全品質目標

目標	実績
1. 環境事故ゼロ	達成（ゼロ）
2. 重大事故ゼロ	達成（ゼロ）
3. A級事故 16件以下	達成（13件）

化学物質管理の徹底

化学物質等による事故防止のためリスクアセスメント管理規則を制定し、新規取扱時や変更時のリスクマネジメントを徹底しています。

安全大会

バルク輸送部門、パッケージソリューション部門、タンクヤード部門、コンテナデポ部門の4部門に分けて毎年2部門ずつ交互に実施しています。テーマを決めて演練方式と発表形式で実施します。直近の2年間は、コロナ禍の影響で、屋外での開催は困難になりましたが、安全に関する活動は停滞させてはならないとの信念のもと、部門ごとに発表形式で実施しています。

2022年度は、【パッケージソリューション部門】7営業所と【タンクヤード部門】4営業所が発表しました。テーマは「事故対策等安全活動」とし、過去に発生した事故を再現し、その対策を実演することで安全のための情報が共有され有効に機能しています。



安全巡視

NRSグループ国内25営業所を各地区に分け、年1回実施しています。2022年度は、関西地区（大阪・神戸）、関東地区（千葉、横浜・川崎、群馬）で実施しました。

会長、社長をはじめ関係部署責任者および各管理者が営業所の倉庫構内・車両車庫・事務所等を巡視し、危険箇所の抽出および問題点を話し合い、業務改善に繋げています。また、巡視終了後、安全会議を開いて意見交換を行い、さらなる安全活動の強化に役立てています。



重大事故対策強化月間

過去の教訓を風化させないことを目的に、重大事故が発生した月間を対象に「強化月間」を毎年設定し、ポスターによる啓蒙、事故の発生状況、原因および対策について再学習しています。対策の維持状況の確認、類似作業の洗い出しなど、全社員が実施し、類似事故の再発防止を徹底しています。

1月 転落事故防止

2月 酸欠事故防止

5月 横転事故防止

7月 圧力・被液、荷役機器事故防止

8月 誤出荷・誤納入事故防止

H（ヒヤリ）H（ハット）K（キガカリ）カード

業務中、実際にあったヒヤリしたこと、ハットしたことについて「HHKカード」を作り、社内で水平展開し危険認識を向上させ事故削減に取り組んでいます。

2022年度は、計445件のHHKカードが提出され事故予防および改善活動に繋がっています。

無事故表彰制度、異常早期発見表彰制度

物流安全品質の維持向上を目的として、無事故の継続や事故予防に貢献し他の模範となる社員（協会社社員含む）を表彰する「無事故表彰制度」や設備・車両・受託製品・書類等の異常を早期に発見し、危険物の漏えい、受託製品の損傷、誤配等を未然に防止した事案を表彰する「異常早期発見表彰制度」を設けています。

2022年度の無事故表彰受賞者は133名、異常早期発見表彰は3件です。

漏洩事故訓練

危険物、毒劇物の漏洩事故が発生した際に社員が迅速に対応、環境影響を最小限にするために作成された手順書をもとに訓練を実施しています。また、漏洩事故に対応した資機材についても管理を徹底しています。



安全性優良事業所（Gマーク）認証取得

すべての輸送事業所および輸送課のある物流センターでは、国土交通省および社団法人全日本トラック協会が推奨している「安全性優良事業所（Gマーク）」を認定取得しています。Gマークは、安全で優れた運送事業所の証です。



運輸安全マネジメント

2005年に多くの分野の運輸事業者には事故・トラブル等が多発したことから運輸事業者の安全管理体制について国が監視する体制を構築し、国と事業者がともに運輸事業の安全を高めることを目的として、2006年に導入されました。すべての輸送事業所および輸送課のある物流センターで取り組んでおり、マネジメントにかかわる概念図および実施概要についてはホームページで社会に公表しています。

安全に関する外部表彰

年月	表彰名	表彰元	表彰対象
2021年10月	安全性優良事業所の認定継続に対する表彰	関東運輸局群馬運輸支局長	群馬物流センター
2022年4月	定例表彰（団体）	愛知県危険物安全協会連合会	東海倉庫
2022年6月	優良危険物保安監督者	堺市長	大阪物流センター 社員
2022年6月	優良危険物関係事業所表彰	消防庁長官	大阪物流センター
2022年6月	労働災害防止に関する表彰	陸上貨物運送事業労働災害防止協会	NRS物流 群馬営業所
2022年6月	千葉県消防長会会長表彰	千葉県消防長会 会長	千葉物流センター 社員
2022年7月	優秀安全運転事業所 金賞	大阪府警察本部 交通部長 自動車安全運転センター 理事長	NRS物流 大阪営業所



顧客に満足されるサービスを目指して

品質方針：

「顧客が満足する物流の品質・プランを提供し社会に貢献する」

誤出荷削減への取り組み

NRSグループでは、取扱貨物100万件あたり何件誤出荷が発生しているかという誤出荷率（ppm）を品質指標として、誤出荷削減に取り組んでいます。

受注処理の電子化や照合確認作業の機械化などDXを推進しているほか、予防活動として誤出荷防止教育、危険予知トレーニング、リスクアセスメント等を実施しています。

安全規則の徹底と教育指導

危険物物流には様々な規制がかかわっており、専門的な知識が求められます。当社では、毎年全社員を対象に、国内の危険物に関する法規制やIMDG CODE（国連機関で定めている危険物輸送の規則）、AEO制度等の勉強会を定期的に開催しています。このほか、部門ごとに専門的な研修も実施し、安全で高品質な物流サービス提供に努めています。

危険物取扱者の資格取得奨励

危険物取扱者は、消防法で定められた「危険物」を取り扱うときに必要な国家資格ですが、当社では、本社の社員、総務や経理担当など直接危険物を取り扱わない社員へも資格の取得を奨励し、資格取得時の費用を補助しています。資格の取得は個人の能力の向上となるだけでなく、顧客により良いサービスを提供し企業としての付加価値の向上に繋がります。

危険物取扱者乙種4類（甲種含む）取得率
（2022年9月末時点）

NRS 87%
NRS物流 100%



日本品質の安心・安全な化学品物流の実現

ベトナム初の化学品専用倉庫の開業

2021年11月、当社のグループ会社であるNRS Raiza Logistics Vietnam, JSC.がベトナム社会主義共和国初の省政府公認の化学品専用倉庫を開業しました。約2年の期間を費やし、様々な危険物蔵置を可能にするべく、関係省庁と「安全と環境」に関する議論と折衝を重ねました。結果、当倉庫は、ベトナムとして初めてのIMDGクラスごとの蔵置をベースにした化学品専用倉庫として、2020年5月16日に省政府より正式に認められました。

当倉庫は、高床式放爆構造・防爆設備を備えた化学品専用倉庫です。日本の消防基準とNRSの創業以来75年のノウハウをもとにした安全基準により設計されており、かつベトナムの各法律にも準拠しています。

開業時より日本人スタッフが常駐し、日本品質の管理体制による安全なサービスを提供します。

NRSグループは、2018年に同国に設立した NRS Logistics Vietnam による危険物輸送、フォワーディング、IBC・ISOタンクコンテナ事業と併せ、顧客へ最適な提案ができる危険物総合物流会社として、成長著しいベトナムを引き続き安全面から支える企業として寄与していきます。



「化学品物流に今ない価値を創る」物流DXの4戦略

DXのビジョン

デジタルを使いプロセスを見直し、データの活用を通じて
「化学品物流に今ない価値を創る」

戦略
1

徹底した生産性の向上

物流プロセス全体を見直し、ヒト・モノの生産性を最大限に効率化させる。そのために、機械化できるものは、すべて機械化する。

戦略
2

化学品物流を変革する

プラットフォームを用い、同業他社との連携を通じて、データを使い化学品物流業界全体の変革をリードする。

戦略
3

顧客に新たな価値提供

顧客のサプライチェーンの効率化に貢献をするために、Logistics × Software × Dataの組み合わせで新たな価値を提供する。

戦略
4

DX人材育成

デジタルを用いて、化学品メーカーおよび商社の皆さま、危険物物流業界に新たな価値を提供します。新たな物流サービスは、大きな変革を実現できるものと考えています。そのために、4つの戦略を実行します。

戦略1：徹底した生産性の向上

物流のプロセス全体を見直し、顧客に正確でスピーディな物流サービスを提供します。具体的には、現在のFAX・メールでのやり取りから脱却し、データを流して標準化した各工程によって顧客サービスを管理します。その結果として、属人化を排除し安全で高品質な物流サービスをグローバルに提供します。

戦略2：化学品物流を変革する

2024年問題など化学品物流業界全体の課題に取り組みます。その取り組みを通じて、化学品物流全体の生産性を効率化させ、新たな価値を創造し、結果として化学品メーカー様、商社様により高度な物流サービスの提供に繋がります。具体的には、すでに稼働中の危険物倉庫空き情報プラットフォームシステム（Anywarehouse）に加え、トラック輸送・ISOコンテナのシェアリングのプラットフォームシステムを現在開発しており、今後の導入を進めていきます。

戦略3：顧客に新たな価値提供

従来の運ぶ、保管するといった物流サービスに加えて、そのデータを活用し顧客のサプライチェーンの効率化に取り組みます。そのために、私たちは「X-Track」というプラットフォーム型のソフトウェアの提供を始めています。X-Trackはメーカー様・サプライヤー様の工場内管理や、物流容器のトラッキング、物流容器の検査管理、メーカー様の物流手配等の機能を提供しています。それら日々のトランザクションデータから、保管の回転率や物流リードタイムを可視化し、サプライチェーン全体の貨物・物流容器の効率化に取り組んでいます。将来的には、AIやIoT、ブロックチェーンの技術を活用し、新たな価値創造に取り組む予定です。

戦略4：DX人材育成

NRSグループ全体でサステナビリティにDXを推進するために、DX人材育成にも力を入れていきます。DXの本質を理解し、Logistics × Software × Dataの組み合わせで、顧客・化学品物流業界全体に貢献を続けていきます。

